

## アーボリスト（特殊伐採技術者）養成TARS-1 受講要件

本研修はアーボリストトレーニング研究所(ATI)に委託して実施する研修であり、樹木に関わるプロフェッショナルとして、一定基準以上のツリークライミングとリギング技術、樹木に関する知識、樹上レスキューを修得し、この試験に合格した者だけに与えられる資格「樹護士アーボリスト」の取得を最終目標としております。

つきましては、下記URLより「樹護士アーボリスト®認定制度」についてご確認いただき、下記4条件に全て該当する方のみお申し込みをお願いいたします。

- ① **樹護士アーボリスト認定試験を受験する予定のあること**
  - ② **「アーボリスト（特殊伐採技術者）養成BAT-1、2」を受講済みであり、一定以上(MRS/SRS)の基本的ツリークライミング技能を有すること**
  - ③ **令和6年11月16日時点で、普通救命救急講習以上を受講していること**
  - ④ **次ページのギアチェックリストに掲載するギア類を各自で準備出来ること**
- ※TARS-1の研修ではギア類の貸出は行いませんので、ご注意ください。**

応募多数の場合、1団体につき1名の受講とし、調整させていただきますのでご了承ください。

---

「樹護士アーボリスト®認定制度」について

<https://japan-ati.com/jugoshi/jugoshi-nintei/>

---

※備考

■ 樹護士アーボリスト認定試験を受験するにあたり必要となる受験資格の内、

本校短期課程で受講**出来る**ATI実施の講習会

- ・BAT-1
- ・BAT-2
- ・TARS-1
- ・TK-1 (R6年度は実施しない)
- ・TK-2 (R6年度は実施しない)

**※TK-1,2を受講済みの方は、「申込フォーム」の「受講目的」欄に、TK-1,2受講済みの旨ご記入下さい。**

# ギアチェックリスト

以下を参考に持参するギア類を各自装備の上ご参加ください。なお、ギアには必ず記名やマイギアとわかる目印をお願いします。

## ●必ずご持参いただく道具 ANSI or CE 規格で認められたもの

- 1 Safety Climbing Helmet
- 1 Safety Glasses (or Helmet Visor )
- 1 Tree Climbing Saddle (or Harness) ※ライフ D 環のあるもの
- 1 120ft~150ft Tree Climbing Rope [MRS(DRT)ができるもの] (1 本以上)
- 1 Throw-lines
- 2 Throw bags (最低 1 セット以上)
- 1 Lanyard (1 セット以上)
- 8 Triple action Double Locking Carabineers  
(合計で 8 枚 ランヤード、クライミングシステムを含む)
- 1 Safety Rescue Prussic Loop or Code (1 本以上) 8mm 程度
- 1 Micro-Pulley (1 個以上)
- 1 エイト環
- 1 Safety Whistle (ホイッスル)
- 1 Hand Saw or Hand Pruner (剪定ノコギリ)
- Pen and Note Book (筆記用具)
- PPE (個人安全装備と作業に相応しい服装) (一部上記を含む)
- Field Sheets or Bags for Personal Gears (マイギア用シートと収納等)

## ●各自のクライミングシステムで必要に応じて持参、または現場に Rescue 用に通常装備するもの

- MRS &SRS 両用ロープ 1 本
- Safety Rescue Prussic Loop or Code
- Foot-Locking Prussic Loop
- Closed Friction System (EYE to EYE Code , Micro-Pulley)
- Daisy Chain 60 inch 姿勢確保用
- Loop 10mm or 8mm 径 70-90cm
- Rescue Cutting Knife ロープカット用ナイフ
- Micro Hauler リフト用具
- Micro Mouse Pulley
- Micro Double Rescue Pulley
- First-Aid Kit 樹上携帯用 地上装備用
- その他 レスキューに必要と思われるマイギア類

- \* ご自身で使用している使いやすい道具等がありましたら持参して紹介してください。
- \* ANSI や CE 等 または国内安全基準表示で一定以上の国際安全品質を満たすもの推奨。
- \* 特に 2 回目以降の参加の方は作業現場に装備している Rescue Gear はすべて持参してください。

(セミナー修了後、現場に準備すべきギアを見極め、順次装備・交換・調達等してください)